

和東町人口ビジョン・総合戦略策定へ向けた 第1回庁内ワークショップのまとめ

【テーマ】

和東町の人口の動向をふまえて
強みを活かし、弱みを克服するために

平成27年5月14日（開催）

和東町総務課

1 第1回庁内検討チームではワークショップで『SWOT分析』を行いました。

(1) SWOT分析って、なに？

SWOT分析は、主にマーケティングにおける戦略の立案・選択のための手法として考案されたもので、その名前は、次の4つの要素の頭文字に由来しています。

S : Strength (強み)

W : Weakness (弱み)

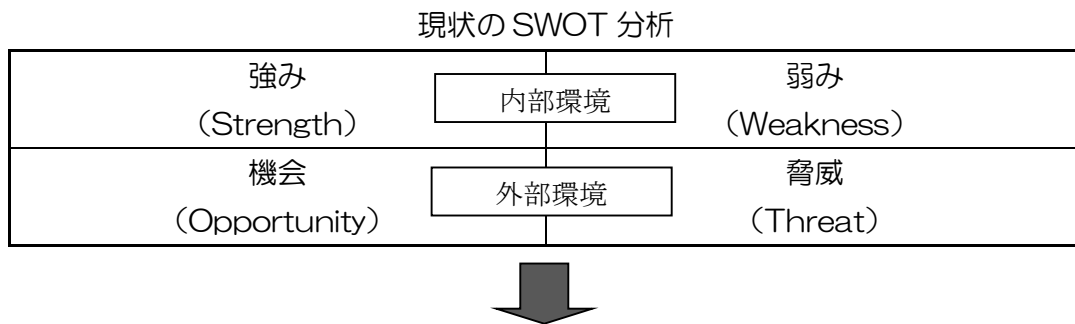
O : Opportunity (機会)

T : Threat (脅威)

経営に影響を与える諸要素を内部環境と外部環境に区分し、内部環境については「強み」と「弱み」、外部環境については「機会」と「脅威」に区分し、自らのおかれる環境条件を明確にする手法です。

一般的な手順イメージは次のとおりです。

(2) 手順1 : SWOTの各項目に対応して要因を列挙する。



(3) 手順2 : これらの要因をクロスさせ、強みや機会を活かし弱みや脅威を回避する戦略を話し合う。

戦略の SWOT 分析 (クロス SWOT 分析)

	強み	弱み
機会	活用 積極戦略	改善 転換戦略
脅威	解消 多角化戦略	回避 縮小・撤退戦略

2 第1回庁内検討チーム会議の進め方

『SWOT分析』手法を活用したワークショップを次のとおり進めました。

ステップ1：現状や問題に関する意見をSWOT分析表で確認、補足する

和東町の現状SWOT分析を事前に事務局で整理してみると、次の表（例）とおりです。

庁内検討チームでは「強み」、「弱み」等を確認しながら、追加する問題点などを書き加えていきました。

現状のSWOT分析（例）

		強み	弱み	
内部環境	府下最大の茶生産面積	<ul style="list-style-type: none"> 茶園面積は府下の4割を占める。 宇治茶ブランドを支える和東茶 茶園面積は府下の4割を占める。 茶源郷・和東ブランドのポテンシャル 	人口の減少と少子高齢化の進行 <ul style="list-style-type: none"> 1985年 6,333人 をピークに減少 	
	茶源郷・美しい村の景観	<ul style="list-style-type: none"> 日本で最も美しい村連合加盟 京都府景観遺産・和東の茶畑景観 	鉄道がない、公共交通がきわめて少ない <ul style="list-style-type: none"> 奈良交通バス(和東町～JR加茂駅間) 	
	日本遺産・日本茶800年の歴史散歩	<ul style="list-style-type: none"> 高級茶として名高い「宇治茶」の生産に係わる景観として和東茶畑が認定 景観だけでなく茶の生産過程を見せることができる 景観と生産過程だけでなく出きたての茶を味わえる「和東茶カフェ」、老舗の茶問屋「辻利」など 	道の駅抹消第1号 <ul style="list-style-type: none"> 道の駅登録の抹消第1号となった道の駅があった(茶処 和東) 	
	身近な自然が豊富	<ul style="list-style-type: none"> 多様な自然を生かした親自然公園が豊富 サバイバルの森、学習の森、収穫の森、湯船森林公園 	茶以外の農業の衰退 <ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣被害 茶以外の農産物がない 	
	地域情報システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> 「茶源郷 行政情報配信システム」の完成 町内全域の防災行政無線整備 	雇用の機会が少ない <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の働ける場が少ない 空き家がある(活かしていない) 商業の集積がない 新たな企業立地ができる条件整備が厳しい 	
	子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 中学卒業までの子ども医療費の無料化 		
	交流観光	<ul style="list-style-type: none"> 湯船森林公園・マウンテンバイクコース完成 「茶源郷PR大使」制度 		
外部環境	機会		脅威	
	交通	<ul style="list-style-type: none"> 府道木津信楽線「瓶原大橋」の架け替え完成 府道木津信楽線湯船バイパス開通 「瓶原大橋」架け替えの完成 京奈道路城陽ICの開設 	全国的な人口の減少と少子高齢化の進行	
	京都、大阪大都市圏、中京圏に至近	<ul style="list-style-type: none"> 城陽バイパスの開設、新名神、京奈和縦貫道、 	子育て世代のワーク・ライフ・バランスが悪い <ul style="list-style-type: none"> 結婚して和東に住むモチベーションがわからない 	
	観光客の増加	<ul style="list-style-type: none"> 国内観光客の増加傾向が高まっている 外国人観光客が1千万人を突破 地方観光がブームに 	若者の雇用の不安定 <ul style="list-style-type: none"> 15歳～26歳の若者が職に就けない。 	
	日本食ブーム	<ul style="list-style-type: none"> 日本の食文化の世界化(和食の世界遺産) 		

追加すべき現状や問題を、加えていきました。

※【参考】今回実施した住民アンケート結果からの住民意向

- 住民の定住意向は前回調査時に比べ高くなっている
- 一方、和束町に住みたくない理由は「交通や買い物が不便」、「好きな仕事を選べない」等
- まちづくりの関心度は、前回調査時より大幅に高くなっている
- 地方創生（総合戦略）で関心のある分野は「しごと、雇用」、「時代に合った安心な暮らし」、「子育てしやすいまち」等



ステップ2：現状のSWOT分析をもとに、戦略のクロスSWOT分析を協議しました

作成したSWOT分析をもとに、メンバーみんなで戦略のクロスSWOT分析を協議しました。協議の視点は、次のとおり、SWOTをクロスさせることで有効な戦略を立てることで

- （活用）機会に対して強みをどのようにすれば最大限活かしていけるのか。
- （改善）弱みにより機会を取り逃さないためには、どうすればよいのか。
- （解消）脅威に対して強みを活かすことでどうすればチャンスとして活かせるのか。
- （回避）弱みとともに最悪の状況に陥らないためにはどうすべきか。

	強み	弱み
機会	活用 積極戦略	改善 転換戦略
脅威	解消 多角化戦略	回避 縮小・撤退戦略

・名称:第1回和東町地方創生検討チーム会議(ワークショップ)

・開催日:平成27年5月14日

※「基本目標4:時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」は3グループ共通テーマとしました。

【I】現状のSWOT分析のまとめ

グループ1:安定した雇用を創出する

- ・「天空カフェ」や「景観」、「美しい村」という強みが出た一方、「林業の衰退」、「女性の働く場(が少ない)」等の弱みがある。
- ・「お茶の特産(佃煮)」はよいところだが、「お茶の価格が下落」という弱みもある。
- ・「茶源郷まつり」や「外国人観光客(の増加)」などの機会を新たな雇用創出にどうつなげるかが課題

	強み(良いところ)	弱み(良くないところ)
内部環境	<ul style="list-style-type: none">・天空カフェ・ロードバイク客の増加・お茶の佃煮・森林資源・景観(茶畑)・美しい村・自然が豊富	<ul style="list-style-type: none">・林業の衰退・お茶の価格が下落・交通が不便・知名度不足・女性の働く場(が少ない)・耕作放棄地の増加・道路が狭い・商工業が弱い
	機会	脅威
外部環境	<ul style="list-style-type: none">・茶源郷まつり・外国人観光客(の増加)・お茶の消費量の増加	<ul style="list-style-type: none">・後継者の減少(不足)・公共交通の利便性(不便)・広域圏の連携が弱い

グループ2：地方への新しい人の流れをつくる

- ・強みに「美しい茶畑景観」という意見が出た一方、その生業景観を除く景観に統一性がないことが弱みとして挙げられている。
- ・公共交通の不便さについて多く意見が挙がっている。一方で幹線道路の充実、トンネル化の動きが今後の期待として挙げられている。
- ・空き家の増加が問題となっているが、空き家を含む住宅が大きいことを活用した取り組みが検討できる。
- ・日本食ブームや訪日外国人の増加、日本遺産への認定などが観光振興の機会として期待される。

	強み（良いところ）	弱み（良くないところ）
内部環境	景観 <ul style="list-style-type: none"> ・美しい茶畑景観 住宅 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅が比較的大きい 自転車 <ul style="list-style-type: none"> ・マウンテンバイクコース ・自転車の聖地 道路 <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路が充実しつつある 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・茶生産（販売）事業者の強い情報発信力 	景観 <ul style="list-style-type: none"> ・景観に統一感がない（生業景観除く） 雇用 <ul style="list-style-type: none"> ・町内に職が少ない 公共交通 <ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数が少ない ・道路幅がせまい ・公共交通が少ない その他 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加 ・まちづくりに関心のある人とない人のギャップが大きい ・交流拠点・施設、駐車場が少ない
	機会	脅威
外部環境	交流 <ul style="list-style-type: none"> ・スマホ普及による新しい交流方法の普及 観光振興 <ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人の増加 ・日本食ブーム ・日本遺産⇒世界遺産 公共交通 <ul style="list-style-type: none"> ・道路運送法の条件緩和（人員輸送・物輸送） ・トンネル化の動き 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが産まれても、一家をあげて転出していく ・若年層の都市への人口集中 ・南山城の道の駅 ・耕作放棄地の増加

グループ3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・自然が豊かで、子育て・教育環境、医療環境が整っていて、おいしいお茶が作られているという和束町の強み、買い物に不便なことや働く場の不足、有害鳥獣被害などの弱みに関する認識が共有された。

	強み（良いところ）	弱み（良くないところ）
内部環境	<p>子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもも大人も顔がわかる ・声かけしやすい ・おもちゃ図書館（おもちゃの貸出） ・子育て支援センターの設置（一時保育、子育て相談、あそびの広場開放） ・保育園の完全給食実施 ・保育園の英会話教育実施（遊びを通じて） <p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3町村連合による教育の充実（南山城村や笠置町との交流により教育が充実する） <p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学卒業までの医療費の無料化 ・医療機関が多い <p>自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の多い子育て環境 ・自然がたくさんあるので楽しめる 	<p>子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く場所がないため、安定した生活の実現が困難である ・赤ちゃん用品、子ども用品を買う店がない <p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学に不便である ・中学のスポーツクラブが少ない ・社会教育の参加者が固定され、少ない <p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的医療機関が少ない <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもも大人も車に依存しすぎて足腰が弱くなっている <p>自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣被害
	機会	脅威
外部環境	<p>起業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市集中から地方へ（ワークライフ・バランス） <p>健康ブーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外でのお茶のブームがある 	<p>集う場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で子どもたちが集う場所がない <p>雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用が不安定

【Ⅱ】クロス SWOT 分析のまとめ

グループ 1：安定した雇用を創出する

【目標】

- ・「茶源郷」のイメージで観光客を増やす。という強みが出た一方、「ロードバイクの増加は危険」、「和束茶の価格の下落」等の弱みがある。
- ・訪問客のコンビニ等への消費ニーズが高まることから、新たな商業サービス（施設）の展開が求められるのでは・・・などの意見があった。

	強み	弱み
	(活用)	(改善)
機会	<ul style="list-style-type: none"> ・茶源郷のイメージで観光客が増える ・地元商業（ローソン）が流行る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードバイクが増えて危険 ・天空カフェの活用が不十分 ・お茶の加工品（佃煮等）が不振 ・和束町産のお茶の不振（価格） ・森林開発に公費が投入できない ・後継者の不足
脅威	(解消)	(回避)
	<ul style="list-style-type: none"> ・和束町産のお茶の価格下落 	

グループ2：地方への新しい人の流れをつくる

【目標】

- 空き家を活用して、観光・交流に活かす。
- スマホ等の新しいツールを十分に生かし、幅広い年代の関心を捉える。
- 既存の資源（茶業、マウンテンバイク等）を情報発信・PRに活用する。

	強み	弱み
	(活用)	(改善)
機会	<ul style="list-style-type: none"> • 外国人向けロードバイク・マウンテンバイクコース情報発信 • スマホを活用したウォークラリー（スタンプラリー） • 住宅（日本式家屋）が大きい⇒空き家も大きい。空き家を利用して交流拠点にする • 生産の現場と生活の場の近接。前面に押し出して、観光客、特に訪日外国人にPRする 	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家の活用 • 空き家を外国人の簡易宿泊施設に！ • 公共交通の利便性の向上 • バスの本数が少ない⇒滞在時間が長くなる。長さを感じさせない工夫（空き家、マウンテンバイク等） • 一般車両の乗り入れが制限（例：上高地）されていては行きたい、日本遺産⇒世界遺産を目指す
脅威	(解消)	(回避)
	<ul style="list-style-type: none"> • 茶の販売生産事業者拠点のミニ道の駅化 	<ul style="list-style-type: none"> • 事業者と連携してバーチャル道の駅（生産アップ／販売アップ／雇用増）

グループ3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【目標】

- ・自然が豊かで子育て環境が整っていて、おいしいお茶が作られているという和東町の良さを生かして、外からの人の流れを作り、起業・商品開発を支援するという方向性が共有された。
- ・和東町の良さを町内住民にもPRする必要があるという課題も共有された。
- ・弱みとして、買い物に不便なことや有害鳥獣被害などがあげられたが、協働の力で克服できるのではとの認識が共有された。

	強み	弱み
	(活用)	(改善)
機会	<p>子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内外へのPR：子育て環境は整っていることを町内外にPRする。⇒人口増加につながる。英会話を通じた幼児教育を町外にPRする ・子育て世代やママさんが集まれるスポットをつくる。 <p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関マップ等によって町民への情報発信 ・子どもや老人の疾病予防や看取り <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の整備 ・自然教育 ・スポーツ大会、合宿の誘致 ・更なる自然環境整備（河川や道路沿い） <p>お茶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和東茶でPRする ・観光のPR（茶畑、自然） ・自宅でも急須を使って煎茶を飲む 	<p>商工会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内で何でもそろえられるよう商工会と連携した取り組みをする <p>整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定対策として地域での追い払いをしてもらう（鳥獣被害） ・町民だけでなく他地域住民との協力で山の手入れをする <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客向けだけでなく、住民も歩きたくなるような場所、機会をもうける <p>住民との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所で声をかけあって町外へ一緒に買い物（車に乗り合うなど）

	(解消)	(回避)
脅威	<p>お茶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 良質のお茶をつくる ・ プライドを持って茶業できる ・ 更なる和東茶のブランド化 <p>体験型子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験農業を子育て世帯にもPRする ・ 農家へのホームステイ（子ども、大人） <p>新たな事業の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業と連携して起業してもらおう（ふるさとテレワーク事業の促進） ・ 新たな商品開発の実施 	<p>子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内で安心して遊べる場所をもうける（お母さん達の井戸端会議も大切） <p>就労</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の就労と高齢者がいつまでも元気で働くことのできる仕組みづくり